

近年目立つ雑草類について

〈カズノコグサ〉



よう!!

湿田での発生が多いイネ科雑草で、発 生期間が長いことから播種直後の土壌 処理剤だけでは防除がむずかしい。

〈ヤエムグラ〉



多発すると麦を巻き倒し、収穫作業に 支障を来たすこともある雑草で、発生初 中期(1月~2月)に除草が必要。

〈カラスノエンドウ〉



4月に赤紫の花が咲くマメ科植物で、 麦収穫時に子実が混ざると調製で除去 できないので、麦販売上の問題となる。

〈イヌタデ〉



発生ほ場は多くはないが近年目立つ ようになった雑草で、発生初期(1月中旬 ~2月中旬) に除草が必要。

〈キンポウゲ類〉



収穫作業に支障を来たすこともある 雑草で、発生初期(1月中旬~2月上旬) に防除が必要。

魅力ある柳川の 小麦づくり運動

※実需者が求める品質の高い

- 小麦づくりに努めよう!! シロガネコムギ
- ・タンパク9.7%以上~11.3%以下
- ・フォーリングナンバー300以上

•灰分1.6%以下

•容積重840g/ ℓ以上

- ミナミノカオリ
- ・タンパク11.5%以上~14.0%以下 •灰分1.75%以下
- •容積重833g/ ℓ以上

・フォーリングナンバー300以上

良質安定多収 8つの重点ポイント

1.湿 害(排水)対 策 (弾丸暗渠の実施) 2.地力増強(土づくり) 4.種子消毒の徹底 草 7.赤 か び 病 防 除 8.異品種の混入防止

地力増強(土づくり)

1.有機物の施用

稲わら:全量12~15cmの深さですき込む。 堆 肥:牛フン1~2t/10a施用。

2.土壌改良材の施用(pHの矯正)

(10a当り)

資材名	施用量(kg/10a)	備考
炭酸苦土石灰	160~200kg	pHの矯正
ミネラルG	160~200kg	ケイ酸の補給
土力の素	45kg	ケイ酸の補給
アズミン	40kg	腐植酸の補給

赤かび病防除の徹底

「赤かび病」は麦の収量、品質に 大きく影響します。特に、食品の安全 性が問われる中で、カビ毒である デオキシニバレノール (DON) が取り 沙汰され、農産物規格規程上、赤か び病被害粒混入限度0.0%と厳し い基準となっています。

赤かび病予防を行うことが売れ る麦の最低条件となっています。

〈赤かび病〉





安全使用

と飛散

止対策を徹

排水対策

①地下排水:有材暗きょ+弾丸暗きょ ②表面排水: ほ場周囲+畦間(枕地に溝を切り排水口に通す) ※麦は湿害に弱いため、ほ場の排水性が収量や品質に大きく影響を 降雨後の水がほ場に停滞しないよう排水溝の整備を行いましょう。

播種時期及び播種量

☆品質向上と安定生産の為、毎年、全量種子更新を行い、 充実のよい種子を用いる。

	種	類	播種適期	播種	量
	7[\	麦	11月20日~11月30日	シロガネコムギ	6~7kg
	/1,	又	ПД20Д 9ПД30Д	ミナミノカオリ	0797Kg
Ī	前年度	モヤギ	シロトビムシの被害を受	受けたほ場では、	播種適期の

範囲内でなるべく早く播種する。 ※晚播限界 12月15日

注意) 晩播対策:播種量を20~40%増量する。 大 豆 後:播種量を20%減らす。

12 5 11.		
薬 剤 名	対象病害虫	処理方法
ベンレートTコート	斑葉病 裸黒穂病 なまぐさ黒穂病	種子10kgに 薬剤50gを 粉衣する。
アドマイヤー水和剤	ヤギシロトビムシ	種子10kgに 薬剤15gを 粉衣する。
クルーザーFS30	ヤギシロトビムシ (多発田)	種子10kgに 薬剤60mlを 塗沫する。

※ベンレートTコートとアドマイヤー水和剤は混用できる。 ※ヤギシロトビムシ多発田では、ベンレートTコートと クルーザーFS30を混用する。

施肥基準

					(IUU
		基肥	一 発 (1月	追 肥 下旬)	穂揃期追加 出穂後7~10
	品種名	ちくごの めぐみ444	麦追肥一発1号	硬質小麦専用 追肥3004	硫安
成	分(N-P-K)	14-14-14	24-0-5	30-0-4	21-0-0
水秤	シロガネコムギ	40kg	40kg		
水稲後	ミナミノカオリ	40kg		40kg	10kg
大言	シロガネコムギ	30kg	30kg		
大豆後	ミナミノカオリ	20kg		30kg	10kg

※穂揃期追肥を尿素の葉面散布で行う場合は、開花期に実施します。 (5kg/100ℓ/10a×1回で硫安10kg/10aに相当) 高温時に尿素葉面散布を行うと、葉焼け程度が激しくなる場合がある。

尿素の濃度が高いと葉焼けの程度が激しくなる場合がある。

赤かび病防除

品 種	防除適期		薬 剤	10a当り使用量
シロガネコムギ	※開花期	粉剤	ワークアップ 粉剤DL	3kg
	(出穂後7~10日)	液刻		2,000倍
ミナミノカオリ	リ 1回目: 開花期(出穂後7~10日 2回目: 1回目の5~7日後	剤 無人航空機	ミラビス フロアブル	100L 16倍 0.8L

※開花期に降雨が続く場合、シロガネコムギも赤かび病が 多発するため、2回目防除(1回目防除の5~7日後)を 行います。

踏み

12月下旬~2月下旬(本葉3枚頃~節間伸長前)にかけて 分げつ促進と徒長防止のために3~5回を目途に行う。 土が乾燥し、茎葉に霜や露がない条件で実施する。 茎立期以降は麦踏みはしない。

1月中~下旬、2月上~中旬、3月上旬を目安として、 できるだけ麦踏み前に実施する。雑草や無効分げつの抑制、倒伏防止、 表面排水等に効果がある。

除草基準

	薬剤名	適用雑草名	使 用 時 期	10a当り 使用量 (希釈水量)	使用上の注意				
は種前	ラウンドアップ マックスロ <i>ー</i> ド		は種前 又は、は種後出芽前	200~500ml (水100L)	・は種前の雑草が多い場合。 ・周囲の作物には飛散しない様に特に注意する。				
土壌	リベレーターフロアブル	一年生雑草	(ATT) (ATT)		・砕土、整地は丁寧に行い覆土深が2~3cmになるように覆土する。				
処理	リベレーターG (粒剤)		は種後~麦2葉期 (雑草発生前~イネ科雑草1葉期)	4∼5kg	・土壌がしめりすぎていると効果むらや薬害の原因となることがある。 ・まれに麦の葉身に白化や黄化が見られることがあるが、その後の生育に影響はない。				
	ハーモニー細粒剤F	一年生広葉雑草	は種後~麦3葉期 (雑草発生前~発生始期)	4∼5kg	・ハーモニー細粒剤FとハーモニーDFはいずれか1回しか使用できない。				
茎葉処	ハーモニーDF	スズメノテッポウ	は種後~節間伸長前	5~10g (水100L)	・散布後、1週間以内の麦踏み・土入れはしない。				
処理	エコパートフロアブル	一年生広葉雑草	節間伸長開始期まで	50~100ml (水100L)	・ヤエムグラに効果が高い ・カラスノエンドウへの効果は低い。 ・小麦の葉身部に軽微な白斑、白点などを生じるが、一過性でその後の生育に影響しない。				
	バサグラン液剤	一年生広葉雑草	小麦の生育期 収穫45日前まで	100~200ml (水70~100L)	・キンポウゲ類に効果が高い。 ・低温、曇天時の散布は効果が劣ることがある。				

注)①ハーモニーDF散布に当って周辺作物に薬害を与えるため、散布時の飛散 (専用ノズルの使用)や散布後の流出に十分注意する。

②ハーモニーDF散布に用いた器具類は消石灰500倍液を10分間循環させた後 20分間放置し、排出後清水で洗浄する。

カラスノエンドウ対策:①発生の揃う2月に薬剤防除を実施する。 ②更に開花時期に残った分を根こそぎ取り除く。

カズノコグサ、タデ対策: ①前年度発生ほ場では排水対策を徹底し、播種直後の除草剤 〈リベレーターフロアブル、リベレーターG(粒剤)〉を散布する。 ②1月下旬~2月上旬にカズノコグサやタデに効果が高い ハーモニーDFを散布し、中耕・土入れを徹底する。

令和8年產小麦栽培管理記入欄 ★「作付品種名」「作付面積」「主な作業月日」を記入して下さい。

品種名		11月			12月 1月					2月			3月		4月			5月		6月		
作付面積		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬 _	上旬 中·		下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬 下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬 下旬	1 上旬「	中旬 下旬
	Ħ,	弾丸暗渠	種子消毒	播種·基肥			麦踏み	土入れ	麦	踏み	土入れ	麦路	当み	土入オ	ι	力	₹かび防除(1	回目)赤	かび防除	(2回目)	収穫	
シロガネコムギ	な	/ ~ 日		/ ~ 日			/ ~	日 /	~ 日 /	~	日 / ^	- 日 /	~ 日	/ -	~ 日							
	作業土壌改良資材 雑草防除 雑草防除 追肥 雑草防除																					
а	未	/ ~ 日	/ ~ 日		/	~ 日		/	~ 日 /	· ~	日 / ~	一日					/ ~ [3	/ ~	日	/ ~	~ 日
	主	弾丸暗渠	種子消毒	播種·基肥		3	麦踏み	土入れ	麦	踏み	土入れ	麦路	当み	土入オ	ι	力	₹かび防除(1	回目)赤	かび防除	(2回目)		
ミナミノカオリ	な	/ ~ 日		/ ~ 日			/ ~	日 /	~ 日 /	· ~	日 / ~	- 日 /	~ 日	/ -	~ 日		/ ~ [3	/ ~	日		
	作 業	土壌改良資材	•		雑草防	除		雑草防	除追	肥	雑草防	余				利	恵肥	-		-	収穫	
а	未	/ ~ 日	/ ~ 日		/	~ 日		/	~ 日 /	· ~	日 / ^	一日					/ ~ [3	/ ~	日	/ ~	~ 日

実需者が求める品質の高い(Aランク)小麦づくりに努めよう!!